

## 2 平成 19 年度戦史部調査研究項目

### (1) 特別研究

題 目	担 当 者
政府及び軍と ICRC 等との関係 －日清戦争から太平洋戦争まで－	立川 主任研究官 宿久 所員

### (2) 所指定研究

題 目	担 当 者
自衛隊・米軍基地に関する事例研究（その 2）	小山 主任研究官
自衛隊の海外での活動における刑事事件への対処について	加藤 主任研究官
太平洋戦争におけるインテリジェンスの役割	小谷 教官

### (3) 基礎研究

題 目	担 当 者
朝鮮における徴兵制と日本人化のための教育	山村 主任研究官
太平洋戦争における日米の戦争指導（その 2）	庄司 主任研究官 進藤 主任研究官
シー・パワーの歴史とその将来像（その 4）	石津 主任研究官 立川 主任研究官
朝鮮軍の研究（その 3）	濱田 所員
太平洋戦争における潜水艦戦（その 1）	石丸 所員
日本海軍における諸外国との親善交流について －大戦間期の遠洋練習航海と軍艦の英国観艦式派遣を中心にして－	川井 所員
太平洋戦争後半期における戦争指導（その 1） －陸軍の戦争終結構想を中心として－	和田 所員

## 3 平成 19 年度戦史編さん等について

防衛研究所戦史部第 2 戦史研究室は、「作戦及び戦闘に係わる戦史に関する調査研究及び当該戦史の編さんを行う」ことを主任務としているが、平成 19 年度は、戦史編さんの方向付け及び適切な戦史史料編さんの実施に資することを目的に「戦史史料編さんに関する指針」を改定し、昨年度に引き続き戦史編さん等の業務に重点を置き活動を実施した。平成 19 年度の戦史編さん業務は次のとおりである。

(1) 戦後史関連の戦史史料編さん

戦後史関連の戦史史料編さんはオーラル・ヒストリー（口述記録の作成）と「基地問題関連資料集」編さんに取り組んでいる。このうち、オーラル・ヒストリーは1970年代の我が国の安全保障に関するものであり、

- ① 中村龍平氏を中心としたオーラル・ヒストリー
- ② 特定のテーマに関するオーラル・ヒストリー
- ③ 山田良一氏を中心とするオーラル・ヒストリー

の3件に取り組んでいる。

中村龍平氏を中心としたオーラル・ヒストリーは本年度の刊行を、山田良一氏を中心としたオーラル・ヒストリーは平成20年度の刊行を目指している。

特定のテーマに関するオーラル・ヒストリーは再軍備問題に関する歴史的事象について、オーラル・ヒストリーの手法により要人の口述記録を作成し年度中に刊行する予定である。

(2) 国外散逸史料の収集

平成18年度の豪州に引き続き、本年度は米国、英国、台湾における調査を実施し、年度末迄にフランスの調査を計画している。

各調査において、対象国の公文書館等において、日本軍の散逸資料および旧連合軍の戦争指導関連資料の所在が確認できたことから、逐次散逸史料等の収集を実施する予定である。

(3) 編さん業務担当者

区 分	担 当 者
オーラル・ヒストリーの作成 (中村龍平氏、山田良一氏等)	相澤 主任研究官 宿久 所員 山口 所員
	高橋 所員 岡田 所員 羽生 所員
	中島 教官
史料集の作成	大場 主任研究官 柴田 主任研究官
	野島 主任研究官 大鶴 所員 安藝 所員

#### 4 戦史史料の閲覧

防衛研究所は、旧陸海軍関係の公文書、非公文書及び戦史関係の出版物並びにそれらの複製物（以下、「史資料」という）を、平日9時から16時30分まで、図書館史料閲覧室において一般に公開している。